がんばろう！東北

国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
平成24年5月9日

# 平成24年5月出水における旧北上川分流施設の効果について
## ～旧北上川和渕地点で水位を約40cm低減し、「水防団待機水位」継続時間を4時間短縮～

## 〔旧北上川分流施設操作の状況～平成19年度の施設完成後、初の操作～〕

- 今回の出水においては、旧北上川の大森水位観測所（石巻市東福田）で5月5日0時50分に「はん濫危険水位」に達し、旧北上川の和渕（わぶち）水位観測所（石巻市和渕）が「はん濫注意水位」に達する見込みであったことから、同日2時30分頃より4時50分頃にかけて全閉操作を実施。

- その後、各地点の水位低下を確認したうえで、同日14時30分頃より19時20分頃にかけて全開操作を実施。

## 〔旧北上川分流施設操作による水位低減効果について〕

・旧北上川の主要地点における主な効果は以下のとおりと想定される。

・和渕地点における水位を約40cm低減。この水位低減により、当該地点における「水防団待機水位」の継続時間を4時間程度短縮。

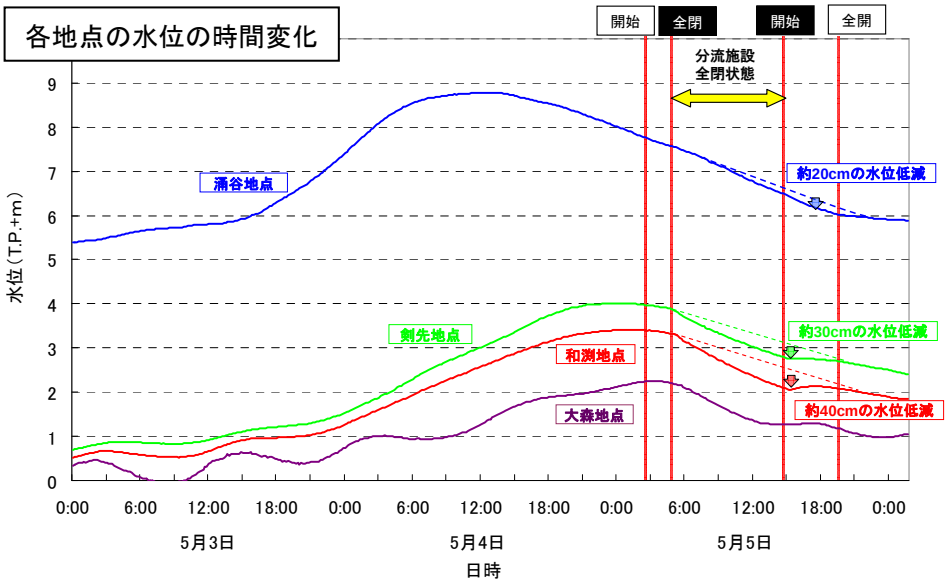
・大森地点においては、河口の潮位変動の影響も受けているため、定量的な評価が困難であるが、水位低下及び「はん濫危険水位」の継続時間の短縮にも寄与。

・支川である迫（はざま）川との合流点付近の剣先（けんさき）地点（登米市豊里町）においては、旧北上川の水位低減効果により水位を約30cm低減。この水位低減により、迫川の水位低減にも寄与。

・支川である江合（えあい）川上流の涌谷（わくや）地点（涌谷町涌谷大橋）においても、旧北上川の水位低減効果により水位を約20cm低減。

・一方で、施設操作後の分流先である北上川においては、若干の水位上昇と水位低下速度の遅れが生じていると見られるが、これらによる被害等、顕著な影響は確認されていない。

各地点の水位の時間変化



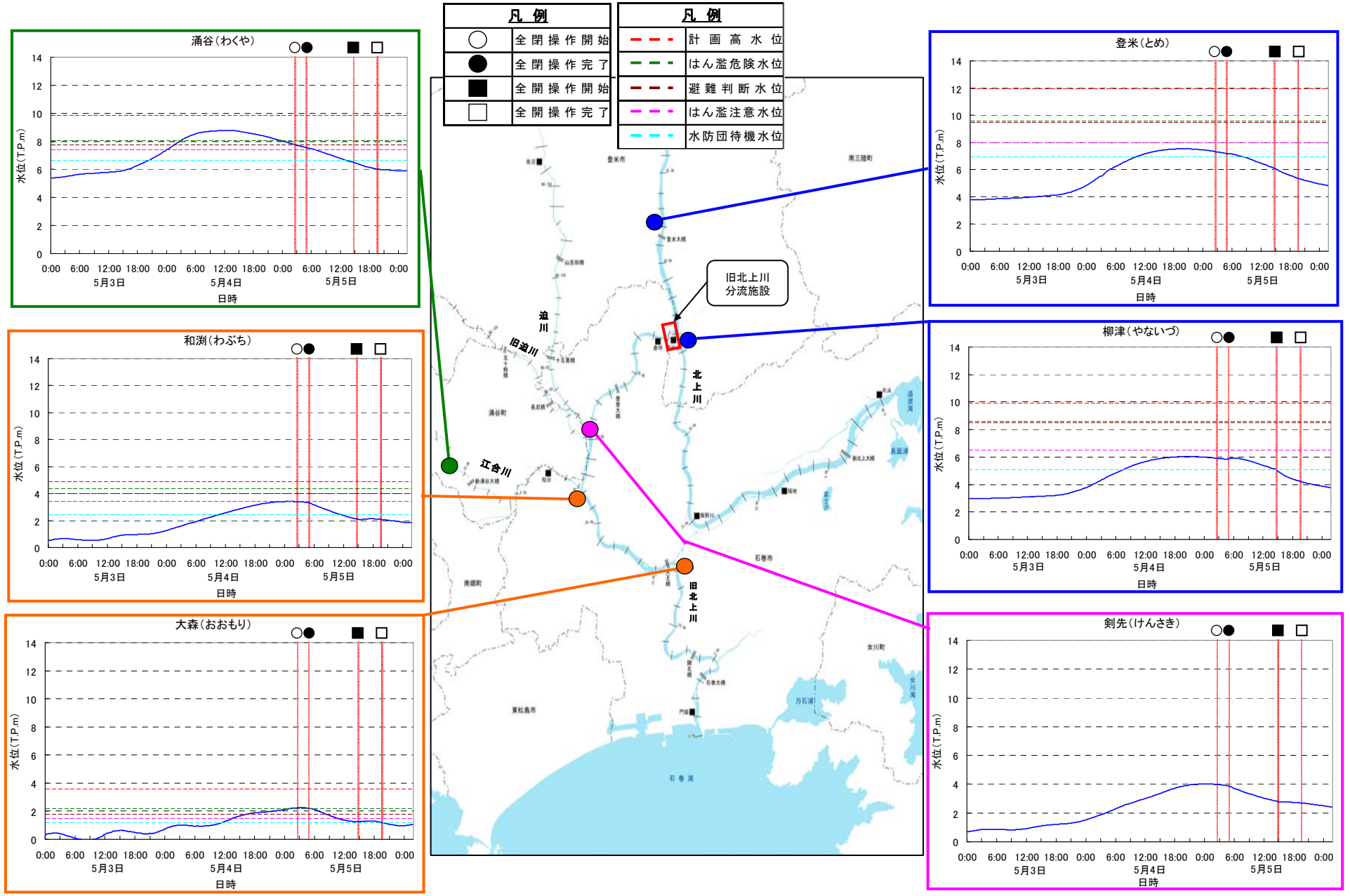

各地点の位置

※点線は旧北上川分流施設を操作しなかった場合の水位を他の地点における水位変化を踏まえて想定したもの。

〔問い合わせ先〕国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
宮城県石巻市蛇田字下沼80　電話：0225－95－0194（代表）
技術担当副所長：佐藤　伸吾　（内線205）　調査第一課長：佐々木　昇平　（内線351）

発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

# 旧北上川分流施設操作前後の各地点における水位



# （参考）旧北上川分流施設の概要

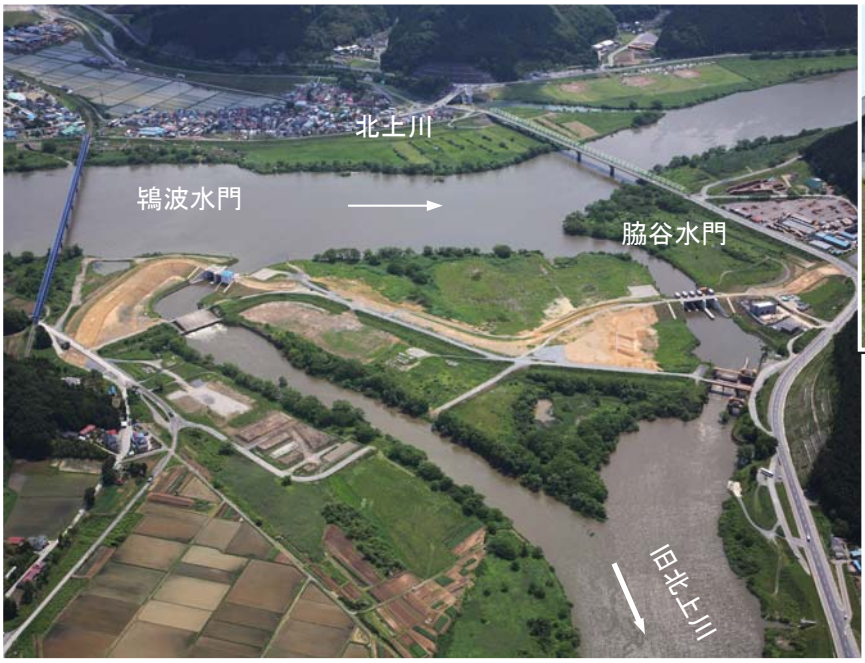
## 〔洪水時における役割〕

今回の出水のように、降雨により旧北上川における水位が上昇し、氾濫の危険性が高まった場合※において、当該施設を操作し、北上川から旧北上川への流量を調節することで、旧北上川の水位上昇を抑制することができます。

※旧北上川の和渕（わぶち）水位観測所における水位が「はん濫注意水位」を超えた場合

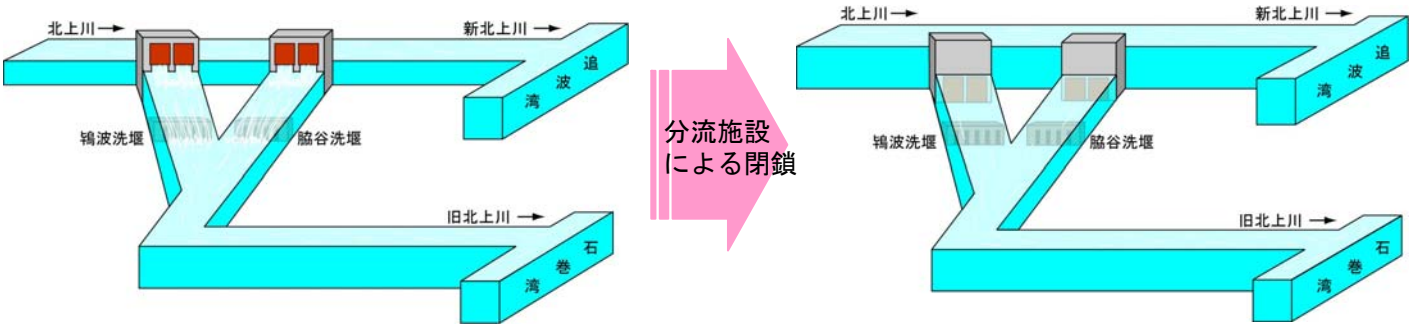
## 〔平常時における役割〕

平常時においては、北上川及び旧北上川の流水の正常な機能の維持（水利用の確保、塩水遡上の防止、通船のための水深確保等）を図ります。



平成　8年度　事業着手　平成19年度　施設完成

旧北上川分流施設の洪水時における操作イメージ




洪水が終了し、旧北上川において危険な状態が回避された場合※には、施設を操作して通常の状態に戻します。

※旧北上川の和渕水位観測所における水位が「水防団待機水位」を下回った場合